

last updated on February 16, 2001

fof2を用いた電子密度の校正のながれ。 (/work9/DAT)

(0) fof2 は Ramjordmoen の敷地内にある dynasonde により取得。dynasondeの所有権は EISCATのようです。

1. fof2 data

(1) **cut_blank_line.pro** Mike Rietveld からもらったfof2のファイルの空白行を除く。彼はファイルをe-mailに添付しておくってくれるが、うまくdecodeできないと、空白行が毎データ行ごとに現れる。これらを取り除く。

(2) **read_fof2.pro** Mike Rietveld からもらったfof2のファイル (sdate0 + 'fof2.das') を読む。各ルーチンに使用される。

(3) **check_time_fof2.pro** fof2のファイルのおかしな時間データを除く。データの中にたまに時間0時のへんなデータが混ざっていることがある。これらを取り除く。変なデータに関しては mike に連絡済み (010213)。

(4) **plot_fof2.pro** fof2ファイルをプロット。Frequency and derived Ne as a function of time.

(5) **plot_fof2_2.pro** fof2ファイルを1日毎にプロット。他は、plot_fof2.proと同じ。

2. EISCAT data

(6) **plot_ne_fa.pro** EISCAT data の *.gdat3 fileを読み Field-aligned data のみを用いて、Peak Ne を求め、それと他の情報 (エラー、対応高度、Txパワー) を図示する。また、Peak Ne, its error, corresponding height, system noise temperature をファイル(ex. nemax 920707.gdat3)に書き込む。データの最後にcp mode および拡張子の情報が入っている。

(7) **read_ne_max.pro** plot_ne_fa.proで作成されたファイル(ex. nemax920707.gdat3)を読み込む。

(8) **make_as_ne_max.pro** plot_ne_fa.proで作成されたファイルをASCIIにする。

(9) **make_bi_ne_max.pro** make_as_ne_max.proの逆。

(10) **plot_ne_max.pro** plot_ne_fa.proで作成されたファイル(ex. nemax920707.gdat3)を読み込みプロット。

(11) **plot_ne_max2.pro** 1日単位でプロット。他はplot_ne_max.proと同じ。

3. Plot together

(12) **plot_ne_max3.pro** plot peak Ne together with fof2-Ne